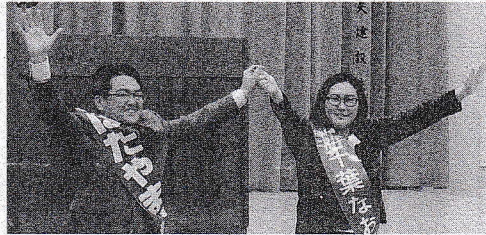


札幌 清田・南両区で議席を

日本共産党札幌市議の議席がない清田区と南区で1日、党演説会が開かれ、島山和也前衆院議員が「市民の暮らしの守り手」の吉岡弘子（清田区）、千葉尚子（南区）両候補を必ず市議会に送ろうと呼びかけました。

被災者600軒近くを訪問 吉岡候補
子育て世代の声 議会へ 千葉候補



た。平日は毎日バス停前で宣伝し、「4回目の挑戦です。みなさんの力を貸してください」と呼びかけました。

声援に励める千葉（左）、島山氏（右）曰、札幌市南区

島山氏は、政府交渉で吉岡氏が草々と被災者の切実な願いを代弁したと紹介し、「今度は市議会で被災者の願いを取り上げさせてほしい」と訴えました。

南区では、神保大地弁護士と「安保関連法に反対するママの会@北海道」の中上範子さんが応援しました。

「真駒内駐屯地がある『基地のまち』南区で共産党の議席がある意義は大きい（神保氏）、「地震の時、区民や仲間を気遣い、情報を発信し続けた千葉さんを

共産党市議団の一員に（中上氏）ともども訴えました。

小学7年と4歳の子どもを育て、候補者活動で奮闘する千葉氏は、南区内21小学校のうち10校が統廃合の対象となっていると告発。「現在、小学1年生までの子ども医療費助成を早急に小学卒業までさらに中卒まで拡大させましょう」と決意を表明しました。

島山氏は、安倍政治のもとで非正規雇用が拡大し、個人が自由に使える可処分所得が減り続けていると述べ、「千葉さんを子育て世代の代表として市議会へ送り出してください」と強調しました。